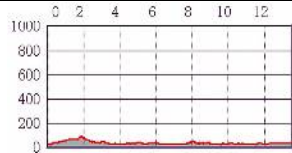
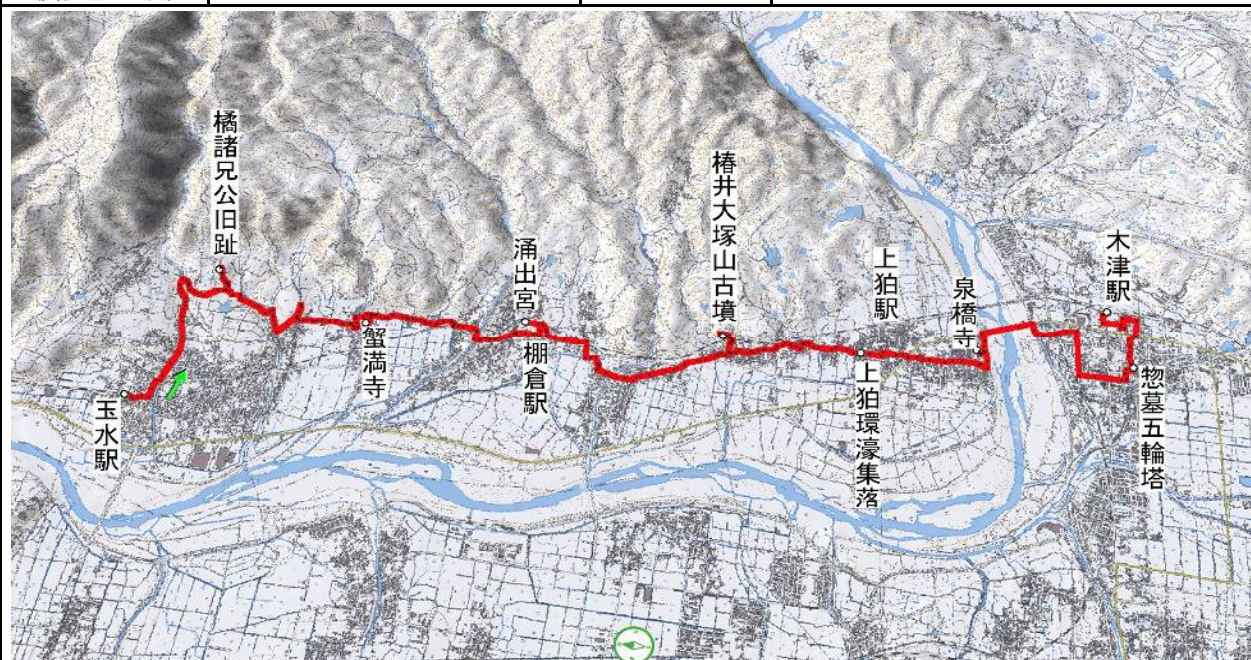


個人山行05:南山城 山背古道2

コース	玉水駅 →1.9km/32′ →橘諸兄公旧址→2.1km/31′ →蟹満寺→1.8km/27′ →涌出宮→2.2km/34′ →椿井大塚古墳→1.4km/21′ →上狛環濠集落→1.2km/17′ →泉橋寺→2.0km/27′ →惣墓五輪塔→0.9km/14′ →木津駅		
水平距離	13.5km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
累計高低差	登り189m、下り185m		
標準歩行時間	3:23		
実績歩行時間	3:33		



山行報告

山行日 2019・8・4 (日) 天候 晴れ 参加者 9名

行 動 JR玉水駅9:05→橘諸兄公旧址9:36~9:45→蟹満寺10:28~10:38→涌出宮11:03~11:13→椿井大塚山古墳 (昼食) 11:51~12:40→上狛環濠集落13:05~13:24→泉橋寺13:46~13:58→惣墓五輪塔14:30~14:35→JR木津駅14:50

記 録

6月9日の山背古道1回目の続きで玉水駅から木津駅まで13.5kmを歩いた。炎天下の街歩きは厳しいが、このコースはJR奈良線沿いを歩くので途中の棚倉駅や上狛駅で中断出来るので実行することにした。条件がよければ平城山駅まで歩くつもりだったがそれは止めた。

最初に訪れた橘諸兄公旧址は小高い丘の上にあった。奈良時代に聖武天皇のもとで左大臣として活躍した人でこの地を愛し別荘を構えられたと紹介されている。次の蟹満寺へ向かう途中で渋川の右折地点を見落とし11分のロス。蟹満寺は680年代に建立され蟹の恩返し縁起と国宝釈迦如来坐像で有名なお寺。修復されたばかりのような新しさを感じた。

道を間違えないように南下し不動川を越えると棚倉駅前に涌出宮があった。境内全域が弥生時代の集落跡と書かれているがそれらしい面影は何もなかった。お参りして元に戻る参道を間違えて引き返すというミスをした。

次の椿井大塚山古墳は後円墳の下をJR奈良線が通っている。昭和28年の工事の時偶然石棺が発見され卑弥呼の鏡と言われる三角縁神獣鏡等が多数見つかって邪馬台国畿内説の最大根拠になった。三世紀後半の前方後円墳である。1800年前の姿を想像しながら昼食。

古墳を降り1.3km南下すると上狛環濠集落に入った。トイレ前広場で休憩し、ここで環濠集落を見学して帰る二人と別れた。本隊は木津川河畔にある泉橋寺へ向かった。741年泉川 (今の木津川) に橋を架けた僧行基が建立したお寺で境内に大きな地藏菩薩坐像があった。行基の作といわれ高さ4.58mの石造坐像は日本一の大きさとのこと。旧泉大橋橋脚跡があるようだが見に行かなかった。国道24号線の泉大橋で木津川を渡り最後の惣墓五輪塔へ向かった。惣墓とは個人墓が普及する前の時代の共同墓地。この惣墓五輪塔は年代が正応5年 (1292年) と刻銘があるのが貴重で重要文化財に指定されている。

今回歩いた山背古道2はガイドブックによると弥生時代の涌出宮、古墳時代の椿井大塚山古墳、飛鳥時代の蟹満寺、奈良時代の橘諸兄公旧址や泉橋寺、鎌倉時代の惣墓五輪塔、室町時代の環濠集落等古代から連続と続く歴史街道だと思った。